富 山 県 知 事 賞

私の大切なもの

高岡市立高陵小学校　６年　　谷口　いろは

　私は、５年生のクリスマスに、自分専用のタブレットを買ってもらった。
　それまでは、お父さんやお母さんのスマートフォンを借りたり、ゲーム機を使ったりして遊んでいた。
　私はふだんから友達が少ないわけではないし、学校ではだれとでも仲良く遊ぶことができる。でも、周りの友達は、みんな自分用のスマートフォンを持っていて、子ども同士で連らくも取り合っていた。少しだけさびしい思いがしていた。
　それで、お父さんにお願いした。
「私も、スマホが欲しい。」
と。お父さんはきっぱり言った。
「SNS がこわいからダメ。」
私はあきらめられず
「タブレットじゃダメ？」
と聞いてみた。実は私は、絵をかくのが好きで、小さい時からいつも自由帳にたくさんの絵をかいていた。タブレットを使って、もっとたくさんの絵を、たくさんの色を使ってかいてみたいと思っていたのだ。
「家の中だけなら。」
と、お父さんは許してくれた。
　タブレットをもらって、私の世界は大きく広がった。絵をかけるのはもちろんのこと。好きな時に動画を見たり、許してもらえるはん囲の友達と SNS のやりとりができるようになったからだ。
　私は夢中でタブレットを使った。家で使う時は「宿題が終わってから」や「決めた時間内で」というルールをしっかり守って遊んでいる、つもりだった。
　でも、しばらくすると、私は学校から帰るとすぐに自分の部屋に行き、最初にタブレットを見るようになってしまっていた。その後から宿題をして、またタブレットを使うという生活になっていた。家族に呼ばれても、
「あと少しだけ。」
と言って、部屋からあまりでていかなくなってしまっていた。ひどい時には、
「うるさい。わかっとる。」
と、口答えまでするようになっていた。
　そんなある日、学校の宿題で「アウトメディア週間」というのがあった。メディアにふれる時間を減らすことが目標だ。その日、私はタブレットを使わないことにした。でも、私はそこで考えてしまった。（どうやって遊べばいいんだろう？）

　タブレットをもらう前までは、遊ぶ時にこんなことを考えることなんてなかったはずなのに、その日は頭が固まってしまった。弟は自分の宿題が終わって、ゲームをしていた。
「アウトメディアやよ。」
と私は弟に言った。そしてとっさに、
「いっしょに絵、かこう！」
と、口にした。
　私は古い自由帳を引っぱり出して、弟と絵をかいて遊んだ。2 人とも好きなアニメのキャラクターを、何も見ずにかいてみた。弟のかいた絵がおもしろすぎて、私は笑ってしまった。そんな私を見て、弟も大笑いをしていた。その時、私は思い出した。
（私の家族は、みんな絵をかくのがすきだったんだ。）
　私は、お母さんとお父さんが帰って来た時、
「みんなで絵しりとりをしよう。」
と言った。そして家族みんなで、大笑いしながら、自由帳がなくなるくらいまで、絵しりとりを続けた。
　タブレットやスマートフォンはとても楽しいし便利だ。でも、使いすぎると、自分だけの世界に入ってしまって、家族の関係が悪くなってしまう。本当に楽しくて、安心していっしょに遊べるのは、家族なんだということがわかった。これからは、もっともっと家族を大切にしようと思う。